様式第１号（別紙１）

（表）

行為の内容（建築物の新築、増築、改築、移転、外観の変更又は色彩の変更）

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 新築・増築・改築・移転）該当行為に○を付けてください（ |  | 届出部分 | 既存部分 | 合計 |
| 敷地面積 | ㎡ | ㎡ | ㎡ |
| 建築面積 | ㎡ | ㎡ | ㎡ |
| 延べ面積 | （　　階）　　　　㎡ | （　　階）　　　　㎡ | （　　階）　　　　㎡ |
| 高さ | ｍ | ｍ | ｍ |
| 構造 |  |  |  |
| 外部仕上げ |  | 届出部分 | 既存部分 |
| 屋根 | 色彩 |  |  |
| 素材 |  |  |
| 外壁 | 色彩 |  |  |
| 素材 |  |  |
| 敷地の緑化 |  | 届出部分 | 既存部分 | 合計 |
| 緑地面積 | ㎡ | ㎡ | ㎡ |
| 樹種等 |  |  |  |
| その他 |  |
| 外観の変更）修繕・模様替（・色彩の変更 | （対象建築物）・外観面積　　　　　㎡・建築面積　　　　　㎡・延べ面積　　　　　㎡・高さ　　　　　ｍ・構造　　　　　　 |  | 変更面積 | 変更後 | 変更前 |
| 屋根 | 色彩 | ㎡ |  |  |
| 素材 | ㎡ |  |  |
| 外壁 | 色彩 | ㎡ |  |  |
| 素材 | ㎡ |  |  |
| 景観上配慮した事項その他参考となる事項 |  |

（裏）

備考

１　各項目について、建築物の新築に該当する場合は、既存部分欄の記入は不要です。

２　「敷地面積」欄には、行為に係る敷地の水平投影面積を記入してください。

３　「建築面積」欄には、行為に係る建築物の外壁又はこれに代わる柱の中心線で囲まれた部分の水平投影面積を記入してください。

４　「延べ面積」欄には、行為に係る建築物の各階の床面積の合計を記入してください。（　）内には、階層を記入してください。

５　「高さ」欄には、地盤面から当該建築物の上端までの高さを記入してください。

また、増築又は改築によって高さが増加する場合は、既存部分欄に現在の高さを記入し、届出部分欄に増築し、又は改築する部分の高さを記入してください。合計欄には増築又は改築後の高さを記入してください。

６　「構造」欄には、木造、鉄筋コンクリート造等の別を記入してください。

７　「色彩」欄には、色調、色相及びマンセル表色系又は日本塗料工業会標準色見本帳の記号を記入してください（マンセル表色系の記号の記入例：濃い茶色（5YR3/3）、淡い黄緑色（2.5GY8/2）、薄いグレー（N7.5）、薄いアイボリー（5Y8/1.5）等）。

また、複数の色彩を使用する場合は、「色彩」欄に「別紙のとおり」と記入し、立面図に各色彩を使用する部分（屋根面及び壁面のサインを含む。）に、その色彩を使う面積、色調、色相及びマンセル表色系又は日本塗料工業会標準色見本帳の記号を記入してください。

８　「素材」欄には、表面仕上げの素材等をできるだけ詳しく記入してください（例：日本瓦ぶき、着色鉄板瓦棒ぶき、アスファルト露出防水、押し出し成形板下地アクリルリシン吹付、コンクリート打放し、小口タイル張り等）。

９　「その他」欄には、伊勢市景観計画の景観形成基準に定める「その他（屋外駐車場、夜間の照明等に関すること。）」事項に関する配慮事項を記入してください。

10　「景観上配慮した事項その他参考となる事項」欄には、当該建築物の建築等に当たって、特に留意した事項等を記入してください。

11　各欄に記入できない場合は、別紙又は添付する図書等に記入してください。